

### III. 第1回 APEC 鉱業大臣会議

金属資源開発調査企画グループ  
企画チーム 調査役 植松和彦

#### (要旨)

APEC 鉱業大臣会議は、APEC としては初めて鉱業関連の閣僚会合として、2004年6月16日及び17日にアントファガスタ市(チリ北部の第2州の州都)において開催され(議長:ドゥラント氏、チリ鉱業大臣)、共同声明を採択した。APEC 加盟 21 か国のうち、17 か国が出席(うち大臣級が参加したのはチリ、ペルー、チャイニーズタイペイ)。我が国からは経済産業省の塚本修審議官が代表として本会合に出席した。

議題としては、①持続可能な開発と鉱業、②貿易と投資の自由化と円滑化、の2点。我が国からは、昨今の資源・原料価格の高騰やタイトな需給状況を基に、この状況に対して継続的な鉱物資源探鉱開発が必要であること、そのためにも環境に配慮した持続可能な開発が重要であること等を説明し、各加盟国からの支持を得、共同声明(Joint Statements)に反映された。

共同声明では、域内での鉱業振興を目指す共通の立場として、鉱業に影響を与える EU の新化学品規制(REACH: Registration, Evaluation and Authorization of Chemicals)や、鉱山開発への金融支援に関し一部否定的な見解が出されている世界銀行の採掘産業レビュー(EIR: Extractive Industries Review)に対しそれぞれ懸念を表明し、EU 並びに世銀に対しメッセージを伝えることとした。

今回は、APEC 鉱業大臣会議の開催結果の概略につき報告することとしたい。

#### 1. 会議開催に至る経緯

(1) チリ政府の APEC 鉱業大臣会議開催に向けた従来からの活動

鉱業大臣会議開催について、チリ鉱業省は4年程前から GEMEED(鉱物・エネルギーの探査と開発に関する専門家グループ)の会合を通じてその都度開催の意向を表明してきた。しかし、初期段階ではチリ側提案に開催時期、主要議題、開催地等につき具体性が乏しく、チリの意向は理解されてはいたものの、加盟国の積極的な支持を得るまでには至らなかった。

この背景には加盟各国の鉱業分野での域内における微妙な立場の相違、各加盟国の鉱業所管省庁の置かれた状況などが関係し、加盟国担当省庁内での理解を得るために相応の時間が必要であった等が挙げられる。

現在、APEC 加盟国の中では、鉱業のみに特化し所管する省庁を有している国は少なく、加盟国中『鉱業省』がある国はチリのみである。今回の APEC 鉱業大臣会議の開催提案に際し、チリ政府は当初『Mining Ministers Meeting』として提案していたが、加盟国との打合せ過程で『The First Meeting of APEC Ministers Responsible for Mining』となった。

APEC 域内の鉱業所管省庁は、鉱業の産業としての重要性、鉱石や金属の素材としての重要性を認識しているが、政府の産業に対する役割、産業及び産業界への関与については大きく変化しつつある。例えば先進国、中進国の一部所管省庁では、産業振興の立場で政府が鉱業を直接的に管理・監督し或いは財政支援する等の関与の形から脱し、業界主導的な取組を促進し、企業が活動しやすい環境作りを担う役割に移行しているケース、また、政府機構の改革により所管省庁の統廃合が進み、エネルギー部門と併せ『エネルギー鉱山省』、天然資源と自然環境と密接な関係から『環境天然資源省』、産業の一部門として所管する関係から『経済省』、『産業省』に組み入れ

られているケースなどがある。

このような状況から鉱業大臣会議開催及び議論のテーマに関して、各国政府の鉱業所管部門は、その属する省庁内での地位や状況により省庁内部での関心の度合いや視点に関する方向性に微妙な違いが見られ、大臣会議開催提案への意思決定に時間を要することなどが予想され、併せて微妙な立場の相違から大臣会議で共通点を見出すことへの困難性が懸念された。開催実現化には鉱業分野での周辺環境の変化が必要であった。

## (2) 鉱業を取り巻く環境の変化と開催実現化

今回 APEC 鉱業大臣会議が開催に至った背景としては、需給タイト化、価格上昇、持続可能な鉱山開発への取組の重要性の認識普及等、鉱業を取り巻く環境の変化と、チリ政府が今年 APEC の一連の閣僚会議開催ホスト国となったタイミングとがうまく重なったことが挙げられる。

鉱石・地金の需給に関し、中国やインドは国内の経済・産業の急成長に伴い世界市場からの鉱石・金属・スクラップを意欲的に購入。これにより需給がタイト化、加えて価格が高騰した。鉱石・地金等を必要とする世界の消費国は、自国産業が必要とする原料の安定確保を真剣に検討し始めた。このため、供給不安を解消する重要な解決策として、消費国は資源保有国における探査・開発案件への出資・融資を通じた上流部への参画が重要であると再認識した。

このため APEC 加盟の消費国は、銅鉱石・地金確保のため世界最大の銅生産国、供給国であるチリ政府に積極的にアプローチしたいとの意向を持っていた。その観点で、チリ政府の鉱業大臣会議開催提案への賛意、支持を通じチリ政府との良好な関係を示し、併せて、大臣会議開催時にチリ政府首脳、高官との二国間会談を実施することで関係緊密化が図れると期待したことが考えられる。

また、『持続可能な開発』という社会・環境に配慮

した開発のコンセプトが浸透、鉱山開発を含む鉱業の振興のためには、持続可能な開発に係るコミットメントやメッセージを政府単独はもちろん、APEC 加盟の鉱業所管省庁が共通して世界市民、地域社会に対して出すことにより世界にアピールすることが期待されていた。

1992 年のリオ環境サミット以降、その概念が世界に少しずつ浸透し始め、2002 年のヨハネスバーク環境サミットでは初めて鉱業分野に関してもその概念に基づき調和ある開発の必要性が出席加盟国で合意された。

鉱業は鉱床が存在する未開発地域において鉱山開発を行うということから、開発により『経済』の分野では鉱物資源・金属を供給し、利益を生み出し経済・社会の発展に寄与してきた。一方で『社会』『環境』の分野において、地域社会への影響や環境負荷を与えてきたという歴史を持つ。鉱業は本質的に他産業に比較して『社会』『環境』へ与える影響が大きい産業と見られ、近年では鉱山開発に関し、ステークホルダー(利害関係者)や『社会』『環境』両分野の関係者からの批判や反対を受ける機会が多い。環境問題や地域住民問題など解決しなければならない現実的問題に直面している加盟国政府関係者にとっては重要な課題となっていた。

その意味において、鉱業を振興したいとする APEC 加盟国、特に開発対象資源保有国の省庁関係者は、国内外の関係者に『持続可能な開発』の理念に沿い健全な鉱山開発、鉱業振興を図ることに対するコミットメントの必要性を感じ、加えて同様なケースを持つ他加盟国での成功事例や解決に役立つ先進技術等の情報を入手し、あるいは共有することで解決策を見出したいとの期待があった。

この問題は単なる開発対象加盟国の問題を越え、鉱物資源・金属を消費する加盟国にとっても安定的に資源を確保する観点から重要な課題となっていた。

鉱業の上流で発生した問題は鉱石・地金の供給障害を招き、世界の需給、マーケット、価格等に直接影響し、消費国、更には加工品や最終製品を生産する国々にとっても重要な課題として理解されるようになった。

## 2. 開催提案

2004年チリ政府がAPEC首脳会議開催国(ホスト国)となり、関連する大臣会議開催が具体化する中、チリ鉱業省は鉱業大臣会合を開催する絶好の機会と捉え、開催に向けた具体的な計画案を作成しチリ政府の支援を受け加盟国に開催を強く働きかけた。

チリ政府は以下の開催趣意書で加盟国に対し、鉱業分野の視点から加盟国が抱える問題についてハイレベルでの対話を推進したいと表明した。

- ① 人口25億を抱え、世界GDPの60%、貿易量の45%を占めるAPECは、世界で重要な役割を果たす。中でも域内鉱業は世界の生産、投資の大部分を占め、その影響力が大きい。
- ② APEC加盟国は世界の金属分野で金の64%、ボーキサイトの50%、ニッケル66%、銅72%、鉛の75%を生産する。このような生産規模を誇るAPECは、現在及び将来的にみて成長が見込まれる鉱業生産地域であり、同時に金属鉱物消費地域である。以上の状況から、APEC大臣会議に鉱業分野を加える意義がある。
- ③ APECでは1996年以来今日まで、鉱物・エネルギーの探査と開発に関する専門家グループ(GEMEED)が鉱業関連の活動を実施。APEC鉱業大臣会議の開催は、鉱業・鉱物・金属分野の将来活動に向けた政策立案、順位付け、また目標達成の一助となる。
- ④ チリ国内の鉱業の状況に照らし、2004年にチリがAPEC主催国を務めることにより、APECで鉱業というテーマの存在感が増し、世界経済の発展に欠かせないと認識されている生産活動という課題をハイレベルで議論する。

加盟国はチリ提案の趣旨に賛同、APEC鉱業大臣会議が開催されるに至った。チリ鉱業省はAPEC鉱業大臣会議の開催に当たり、チリ銅委員会を開催事務局と指名して、加盟国関係者を集め2004年3月非公式準備会合(トロント)、2004年4月公式準備会合(サンティアゴ)を開催、準備作業を進めた。

## 3. 会議概要

2004年6月15日～17日にかけて、チリ政府(チリ鉱業省)の主催によりAPECとしては初めての鉱業大臣会議が開催された。

6月15日加盟国大臣及び政府高官はサンティアゴに集合。同日昼にチリ政府はサンティアゴのハイアット・リージェンシーホテルにて開会セレモニーを開催。その日午後一行は政府チャーター機にて本会合が開催されるアントファガスタへと移動した。

6月16日アントファガスタのアントファガスタホテルの会議場にて第1回APEC鉱業大臣会議が開催された。

会議は、チリ鉱業省ドゥラント大臣が議長を務め、APEC加盟21か国のうち、17か国(オーストラリア、ブルネイ、カナダ、チリ、中国、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、メキシコ、ペルー、フィリピン、ロシア、チャイニーズタイペイ、タイ、米国、ベトナム)の鉱業大臣や鉱業を所管する省庁の高官が出席、我が国からは経済産業省塚本修審議官が代表として出席した。

会議は開会セッションと主要テーマである鉱業の持続可能な開発セッション及び、貿易の自由化及び投資の促進セッションの順番で進行した。各セッションでは加盟国大臣及び代表者が意見を述べ討論を行った。16日夕刻、議論の結果が共同声明(Joint Statements)としてまとめられ承認された。

6月17日、鉱業大臣会議出席者一行は再び政府チャーター機にてチュキカマタ鉱山都市カラマに移動。チリ鉱業省は、世界最大の銅露天掘りチュキカマタ鉱山の採掘場のお立ち台そばに特設会場を準備し、加盟国大臣及び関係者出席の下で共同声明を発表した。

#### 4. 主要テーマ

会議では、①鉱業の持続可能な開発、②貿易の自由化及び投資の促進という2つの主要テーマにつき議論された。共同声明におけるポイントは以下の通り(別紙資料：共同声明原文及び仮訳参照)。

##### (1) 持続可能な開発

① APEC における鉱業・金属産業の持続可能な開発が、富の形成、環境の改善等を進めること、結果として社会にとってより高い価値が得られることについて合意。

##### (2) 貿易・投資の自由化と円滑化

① 本件については、APEC 貿易担当大臣会議における議論等を前提に前進させる必要があることを認識。

② この実現に向け、関税・非関税に関する課題の特定や、規制動向の分析の必要性等を認識。

③ APEC 加盟国の経済発展を支援するために、投資の促進、これによる需給バランスの達成が重要。また、需給見通しを理解することの必要性や、需要を満たすための産業活動の重要性等も認識。

④ APEC 非鉄金属ダイアログの発足を歓迎し、本鉱業大臣会合での決定の遂行に貢献する方策を検討するよう加盟国に要請。

#### 5. 今後の活動

(1) APEC における鉱業・金属分野の位置づけの向上に努めると共に、持続可能な開発と貿易・投資の自由化・円滑化を奨励。

(2) 将来の APEC 共同事業を行うため、作業計画を調整・策定することとし、これを GEMEED に指示する。計画には以下を含む。情報・経験の交流促進、科学・技術開発の協力、産業界との連携強化、貿易・投資の自由化・円滑化の状況分析等。

(3) EU が策定している化学物質の新規制が貿易制限効果をもたらす可能性について懸念(concern)を表明。また、世銀による『採取産業レビュー』に関する懸念も世銀に伝達。

(4) 議長に本会議の結論を APEC 首脳会合に報告するよう求めると共に、上記作業計画が策定された際に再度集うことを約した。

#### 6. 我が国からの意見表明と結果

(1) 共同声明作成にあたって、我が国は、昨今の資源・原料価格の高騰やタイトな需給状況を基に、この状況に対して継続的な鉱物資源探鉱開発が必要であること、そのためにも環境に配慮した持続可能な開発が重要であることを表明、我が国の意向を加盟国に伝え理解を得、共同声明へ反映された。

(2) APEC 鉱業大臣会議の席上では、開会セッション、持続可能セッション、貿易・投資の自由化と円滑化セッションの全てのセッションで塚本審議官は発言を求め、パワーポイントを用い効果的な説明を実施した。また、持続可能な開発セッションでは、環境に配慮した鉱山開発を訴え、閉山後も環境に配慮した政策の具体的な事例として、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)が岩手県から管理委託されている旧松尾鉱山での坑廃水処理事業と北上川の清流化につき紹介、関係者に強い印象を与えた。

#### 7. 共同声明について

(1) 共同声明で各加盟国が特に強調した点としては、『地域住民』『先住民』問題が挙げられる。持続可能な開発というコンセプトの重要な構成要素である『経済』、『社会』、『環境』のうち、近年鉱山開発等の各段階で摩擦を生じている『地域住民』『先住民』問題に関し、その課題

を抱え対策に取り組んでいるカナダ、インドネシア、ペルーは共同声明の中に地域住民との継続的な対話を通じた協調の重要性を盛り込むよう強く希望した。加えて人材育成の必要性にも触れるよう要望し、共同声明に盛り込まれた。

- (2) チリは、鉱業が盛んなチリ第2州で進めているクラスター構想(鉱業に関連した中小企業、零細企業の事業振興)を推進するため、この APEC 鉱業大臣会議での声明においても取り組み事項のなかに『クラスター』の文言を入れた。チリ鉱業省にとっては同省が推進する政策、すなわちクラスター構想を推進する上で、国内向けに強くアピールできたことの意義は大きい。
- (3) 貿易・投資の自由化と円滑化の分野に関しては、地金税制度を維持している我が国は、貿易の自由化の議論の中で『タリフ(Tariff)』いわゆる関税問題に議論が集中することが懸念されたが、特段の深い議論とはならなかった。一方、我が国は、投資の円滑化、特に探査・開発への投資促進の重要性を世界の探鉱費の推移と鉱山発見数などを示して訴え、鉱業投資の重要性に理解が得られた。
- (4) 共同声明の中でアクションアイテム(行動事項)に関しては、APEC 鉱業大臣会議開催にあたり事前準備時間の不足もあり、具体的事項に至る掘り下げた行動指針や計画が打ち出されるには至らなかった。これに対応するため、会議では意見・情報の交換を促進するための取り組みや技術協力、技術専門家ネットワークの形成、人材育成等に向けた取り組み等の方向性を示し、GEMEED に具体的な作業計画案を策定するように指示し、合意した。

## 8. APEC 鉱業大臣会議開催結果に対する評価等

鉱業大臣会議に対する今後の期待、課題等に関し

ては以下の通り。

(1) 探査・開発投資促進への加盟国政府の環境整備投資の円滑化に関しては、民間企業が主に探査・鉱山開発を担っていることから、加盟国所管省庁が探査・鉱山開発に対する投資額の目標等を設定するには立場上難しい部分もあるが、政府関係者の組織である APEC 鉱業大臣会議は投資促進に効果のある政策や法制度等につき議論し、域内での投資円滑化に向けた投資環境整備促進への貢献が期待される。

(2) 貿易自由化に関する議論とその方向性

今後、貿易の自由化に関する議論は関税障壁、非関税障壁等の議論を通じた完全自由化に向けた議論となることが予想される。但し、今回出席した鉱業大臣ほか出席者の属する省庁では、貿易問題に関する権限(マנדート)の有無や省庁内での貿易セクターとの力関係等により、鉱業大臣会議の場における議論への係わり合い方が難しく、各国の鉱業分野における立場の相違から議論の仕方やその方向性に関しては見通すことが難しい。

加えて 11 月に設立予定会合の産業界関係者も広く参加できる『APEC 非鉄金属ダイアログ』に関し、今回の大臣会議もその設立を歓迎したが、この会合では金属マーケットでの取引を対象とした議論などが想定されている。APEC 鉱業大臣会議との役割分担が未だ不明確な状況である。今後『APEC 非鉄金属ダイアログ』での議論、活動を見極めながら対処していく必要がある。

(3) 鉱業に影響を与える他地域機関、国際機関等の活動に対する共同行動

今回の共同声明で特筆したいのは、EU の新化学品規制(REACH)や世銀の採取産業レビューに対する懸念表明が挙げられる。

今まで、APEC/GEMEED レベルでは対外的に政治的なメッセージを出してこなかった。今回の大臣会議が鉱業の振興に障害を与える規制や動向に懸念表明

を出したことは、今後直接あるいは間接的に鉱業に影響を与える他地域組織や国際機関の活動に対し共同して対処するという組織としての存在感が生まれ、加盟国の大臣会議への積極的な参加促進効果が期待される。

(4) 我が国政府鉱業セクターとしての意見表明の場  
エネルギー分野の大臣会議は世界、地域別ともに恒常的に開催され、各種メッセージや方向性を打ち出している。現在も世界規模での鉱業大臣会議のフレームワークは無く、会議の開催は実現していない。この点に関して、鉱業分野の中心的エリアとしてのAPECにて鉱業大臣会議が開催され、南北米鉱業大臣会議よりも大きい枠組みで形成された意義は大きい。我が国としては政府鉱業所管省庁関係者が直接参加でき、意見表明や貢献をアピールできる場として活用することが期待される。

#### (5) APEC/GEMEED 活動に対する理解と支援

APEC に唯一ある鉱業分野での専門家会合グループである GEMEED が鉱業分野の課題に対し着実に活動してきたが、今回の上位組織である APEC 鉱業大臣会議が GEMEED の取り組みに対する認識を新たにし、更には大臣会議での活動計画策定を指示するなど連携が明確になったことにより、今後の GEMEED の活動活発化への支えとなる。

### 9. 現地プレス等の反応等

チリでは鉱業大臣会議が開催されていた6月中旬の時点で、鉱産税(ロイヤルティ)の導入に関し政府案が示され、議会への提出が予定されていた。本件に関しては、チリ国内でも議論されており、チリに

対し鉱業分野での投資を行っている先進国及び世界の大手非鉄金属企業の本件に対する対応が注目されていた。

今回の APEC 鉱業大臣会議ではロイヤルティ問題は議題とはなっていなかったが、地元プレス関係者は本件に関し出席した主要国関係者からのコメントを期待して、APEC 鉱業大臣会議開催中、議場の外にあるロビー等にて積極的な取材を行っていた。地元新聞には APEC 鉱業大臣会議に関する報道に加え、加盟国関係者からのロイヤルティ問題へのコメントが報道され、ロイヤルティに対する関心の高さがうかがえた。

### 10. まとめ

APEC 鉱業大臣会議に関しては、鉱業を取り巻く状況・環境の変化等、開催条件にも恵まれたが、チリ鉱業省の開催に対する努力は評価したい。

現在、加盟各国は鉱物資源・金属に関する貿易自由化も含め積極的に二国間での或いは ASEAN 等地域組織との FTA(自由貿易協定)に関する協議を推進している。その結果、鉱物資源・金属に係る関税撤廃や自由化が進展している。この観点で二国間において議論すべき課題があり、二国間協議の場の必要性を感じている。

一方、多国間協議の場である鉱業大臣会議に関しては、加盟国関係者が継続的な開催を必要とする議題に関し今後とも検討し、提案していくことが求められている。その点に関し検討を付託された GEMEED での行動計画に関する議論が期待されるところである。

(2004. 8. 30)

FIRST MEETING OF APEC MINISTERS  
RESPONSIBLE FOR MINING  
Antofagasta, Chile  
16-17 June 2004  
FINAL VERSION

第1回 APEC 鉱業大臣会議 共同声明  
チリ、アントファガスタにて  
2004年6月16、17日

Introduction

1. We, the Ministers Responsible for Mining representing APEC's member economies, convened our First Meeting in Antofagasta, Chile, on June 16-17, 2004, under the Chairmanship of H. E. Alfonso Dulanto, Minister of Mining, Chile.
2. We noted that the Asia Pacific region is the main driver of global economic growth and a significant producer and user of minerals and metals; that many economies derive important economic and social benefits from their development, trade and use; and that the mining and metals industry can effectively be an engine for development.
3. We confirmed that the development of the mining and metals industry has great importance in promoting employment and economic growth.
4. We discussed and analyzed two main issues for minerals and metals:
  - A. Sustainable development.
  - B. Trade and investment liberalization and facilitation.
5. We acknowledged that this meeting was a great opportunity to give minerals and metals in APEC a new impetus and to discuss the challenges that face a key productive activity for the development of APEC economies and the world, at the highest level.
6. We acknowledged that development in an inter-dependent world supposes complex challenges to the mining and metals industry. The most important is related to how society can meet

はじめに

1. 我々APEC 鉱業大臣は APEC 加盟国を代表して、2004年6月16、17日にチリのアントファガスタにおいて、アルフォンソ・デュラント、チリ鉱業大臣閣下議長のもとに初の会合を召集した。
2. 我々は、アジア・太平洋地域が世界経済の成長を牽引する主役であり、鉱物・金属の重要な生産・利用地域であること、また、多くの加盟国は鉱物・金属の開発・貿易・投資を通じて大きな経済的・社会的利益を享受していること、さらに鉱業・金属産業は経済発展の実質的な原動力でたり得ることを指摘した。
3. 我々は、鉱業・金属産業の発展が雇用促進と経済成長において大きな重要性を有することを確認した。
4. 我々は、鉱物と金属に関する以下の2つの主要議題を議論、分析した。
  - A. 持続可能な開発
  - B. 貿易・投資の自由化と促進
5. 我々は、今回の会合が APEC の鉱物・金属分野に新たな勢いを与え、また、APEC のみならず世界を発展させる主要な生産活動が直面する課題を、最高のレベルで議論する絶好の機会となったことを認めた。
6. 我々は、相互依存する世界における発展は、鉱業・金属産業に複雑な課題を投げかけていることを認めた。最も重要な問題は、長期的に持続可能な社会・環境・経済の水準に準拠しつつ、

its demands for the mining and metals industry while complying with social, environmental and economic standards that are sustainable in the long term.

7. We acknowledged that challenges are arising for producer and consumer economies from the increasing demand for minerals and metals globally, and the development of new technologies and applications which require new material.
8. We observed that resource endowment and minerals and metals usage varies considerably between APEC member economies which makes relationship among economies more necessary.
9. We recognized the work conducted by the Expert Group on Minerals and Energy Exploration and Development (GEMEED) in minerals, metals and energy related issues since 1996 through the Energy Working Group (EWG).
10. We confirmed our commitment to the economic, environmental, and social dimensions of sustainable development and recognized the importance of the mining and metals industry as a fundamental platform for reaching greater development in many APEC economies as well as the contribution of minerals and metals as essential elements of modern economies.
11. We confirmed our commitment to trade and investment liberalization and facilitation of minerals and metals by recognizing, as a global industry, the need for free flow of trade and investment.

#### Sustainable Development

12. We agreed that the sustainable development of the mining and metals industry in the APEC Region enhances wealth creation, environ-

鉱業活動に対する需要を社会がいかに満たすことができるかである。

7. 我々は、世界的な鉱物・金属需要の高まりと、新素材を必要とする新技術とその適用法を開発する必要性から、生産国・消費国に対する新たな課題が生じていることを認めた。
8. 我々は、資源の賦存状況と鉱物・金属の利用はAPEC加盟国間で大きく異なり、このため、加盟国間の関係強化がさらに求められていることを認めた。
9. 我々は、鉱物・金属・エネルギー関連問題に関し、鉱物・エネルギーの探査と開発に関する専門家グループ(GEMEED)が、1996年以來エネルギー・ワーキング・グループ(EWG)を通じて行ってきた取り組みを認識した。
10. 我々は、持続可能な開発の経済・環境及び社会に係る側面に対する自らの決意を確認した。また我々は、鉱業・金属産業は、多くのAPEC加盟国の開発促進には欠かせない重要な基盤であると同時に、現代の経済には不可欠な要素として貢献していることを認識した。
11. 我々は、鉱物・金属は地球規模の産業であることから、貿易と投資の自由なフローが必要であることを認識し、鉱物・金属の貿易・投資の自由化及び促進に対する自らの決意を確認した。

#### 持続可能な開発

12. 我々は、APECにおける鉱業・金属産業の持続可能な開発によって、富の創造が進み、環境が改善され、また社会的責任のある開発が向上し、



mental outcomes and socially responsible development and result in enhanced value for society. To give substance to this, we recognized:

- A. The need to support and promote initiatives that contribute to meet sustainable development in the mining and metals industry.
- B. The importance and the need for promoting a cleaner and more efficient production, building on the significant efforts being made by the industry globally to address the environmental, economic and social impacts and benefits of minerals and metals.
- C. That best practices can be fostered through collaboration between member economies in such areas as technical and capacity-building support to address small scale mining and legacy issues including rehabilitation of mining sites.
- D. The need of promoting a culture of harmony between the mining industry and local populations influenced by mining operations. This concept should be based on a continued dialogue, the respect for local institutions and authorities and a shared understanding of sustainable development aimed to encourage opportunities for human development beyond the mining activities in the long run.

#### Trade and Investment Liberalization and Facilitation

13. We acknowledged that trade and investment liberalization and facilitation of minerals and metals improve the economic and social conditions of APEC economies. These actions

さらに社会がより価値を得られるようになることに合意した。以上を具体化するため、我々は以下の点を認識した。

- A. 鉱業・金属産業の持続可能な開発の実現に寄与するイニシアティブを支援し、促進する必要があること。
- B. 鉱物・金属が環境・経済・社会にもたらす影響と利益に対し、産業界が地球規模で多大なる努力をすることによって、よりクリーンで効率的な生産を促進することが重要かつ必要であること。
- C. ベストプラクティスは、小規模採掘や、鉱山跡地の再生を含めた負の遺産問題に取り組むために、技術支援や能力開発面といった分野における加盟国間の協力を通じて推進できること。
- D. 鉱業と鉱山操業によって影響を受ける地域住民との間に、調和の文化を促進することの必要性。このコンセプトは、継続的な対話、地方の組織や自治体当局の尊重及び長期にわたる鉱業活動を越えた人的開発のための機会促進を目的とした持続可能な開発の共通理解を基本とすべきである。

#### 貿易・投資の自由化と促進

13. 我々は、鉱物・金属の貿易・投資の自由化と促進が、APEC 加盟国における経済・社会的な条件を改善することを認識した。これらの活動は、ボゴール宣言及び APEC 貿易大臣会合での議論

need to move forward based on the Bogor Declaration and in the premise of discussions at APEC Meeting of Ministers Responsible for Trade.

14. In order to meet trade and investment liberalization and facilitation of minerals and metals, we:
  - A. Considered it necessary to identify the tariff and non tariff related issues for minerals and metals in the APEC context.
  - B. Recognized the importance of detecting future prospects for trade and investment facilitation in the mining and metals industry.
  - C. Assumed the need to identify, analyze and foresee regulatory trends for minerals and metals.
  - D. Recognized the desire of APEC economies to expand trade in minerals, metals and mining-related goods, services and technologies.
  - E. Recognized the importance of working towards facilitating investment in the mining and metals industry and therefore the balance between supply and demand in order to support development of APEC economies.
  - F. Recognized the importance of the mining and metals industry to APEC economies development goals and the need to understand the supply and demand outlook for minerals and metals, and the ability of this industry to meet this demand.
15. We welcomed the launch of the APEC Non-Ferrous Metals Dialogue, as proposed by Russia, particularly the outcome of the first Steering Group Meeting of the Dialogue held in Pucón,

を前提として、前進させる必要がある。

14. 鉱物・金属の貿易・投資の自由化と促進の実現に向け、我々は、
  - A. APEC 中での鉱物・金属分野における関税・非関税問題を明らかにすることは必要であると考えた。
  - B. 鉱業・金属産業における貿易・投資の自由化と促進の未来像を探る重要性を認識した。
  - C. 鉱物・金属を取り巻く規制の動向を明らかにし、分析し、予見する必要があることを認識した。
  - D. 鉱物、金属及び鉱業に関連する商品、サービスおよび技術の貿易の拡大を願う加盟国の意欲を認識した。
  - E. APEC 加盟国の発展を支援するため、投資促進に努めることが重要であり、したがって需要と供給のバランスが重要であることを認識した。
  - F. 鉱業・金属産業は、加盟国が開発目標を達成する上で重要な役割を果たしていること、鉱物・金属の需要・供給見通しを理解する必要があること、鉱業・金属産業にはそのような需要を満たす能力があることを認識した。
15. 我々は、ロシア提案の APEC 非鉄金属ダイアログの設置を、とりわけ 2004 年 5 月 25 日にチリのプコンにて開催された第 1 回ステアリンググループ会合の成果を歓迎した。また、APEC 加盟国

Chile, on 25 May, 2004 and encouraged APEC members to work towards identifying measures to contribute to implementing decisions and recommendations made at this ministerial meeting, including through capacity building, exchange of information and best practice. We expressed the hope that the Dialogue will contribute to effective cooperation between Government and Business sectors in minerals and metals and related areas.

#### Action Items

16. We agreed to work in a collective manner to raise the profile of the mining and metals industry in APEC, as well as to encourage sustainable development and trade and investment liberalization and facilitation in the sector.
17. We agreed to develop a working plan in order to make future collaboration among APEC economies more precise and effective in order to guide decisions on the minerals and metals sector at the future Meetings of Ministers Responsible for Mining.
18. We tasked GEMEED to develop and coordinate this working plan which will be reported to Ministers Responsible for Mining and should include the following issues:
  - A. Increase, improve and coordinate the flow and exchange of information and experiences in the mining and metals industry, including the restructuring of the GEMEED's Minerals and Energy Information Network, in order to:
    - Demonstrate the contribution of minerals and metals to sustainable development.
    - Recognize the efforts to improve society's appreciations of the mining

に対して、本大臣会議の決議と提言の実行に寄与する手段を、人材養成・情報交換・ベストプラクティスを含め、明確化できるよう努力を働きかけた。我々は、同ダイアログが、鉱業及び関連分野における政府・民間部門間の実効ある協力を資することに対し、希望を表明した。

#### 取組事項

16. 我々は、APECにおける鉱業・金属産業の位置づけの向上に向けて協調して取り組み、また、持続可能な開発を奨励し、本部門の貿易・投資を自由化・促進すべきことに合意した。
17. 我々は、将来の APEC 加盟国間の共同作業がより的確で実効あるものとなり、鉱物・金属部門に関する鉱業大臣会議の決定を導くため、作業計画を策定することに合意した。
18. 我々は、GEMEED にこの作業計画の調整役となることを課した。作業計画については、鉱業大臣会議に報告し、以下の課題を含むものとする。
  - A. GEMEED の鉱物・エネルギー情報ネットワークの再構築を含め、以下を目的とした鉱業・金属産業における情報・経験のフローと交換を増加、改善、調整する。
    - 持続可能な開発に対する鉱物・金属の貢献を明示する。
    - 鉱業と金属産業への社会の評価を改善する努力を認識する。

and metals industry.

B. Promote cooperation of scientific and technological research and development in minerals and metals, within the framework of APEC-ECOTECH principles, in order to:

- Move forward towards a stronger inter-relationship among APEC member economy governments, researchers and firms.
- Improve international scientific and technological networks.
- Improve the workforce capability, including the needs of indigenous people, promoting the exchange of professionals and researchers among APEC economies.
- Assess and evaluate the current situation of the workforce resources in the mining and metals industry in APEC economies.

C. Examine mechanisms to work more closely with the industry, including through the APEC Business Advisory Council (ABAC), in order to:

- Generate synergies among the minerals, metals and related sectors taking into account that productive linkages (clusters) are an important contribution of mining to sustainable development.
- Develop small and medium enterprises, which will reaffirm the above mentioned and multiply effects due to a higher generation of jobs and to the greater development of economies.
- Generate a business network which allows cooperation among its members, as well as the analysis of new opportunities for minerals, metals and its related sectors within the APEC region.

B. 以下を目的とし、APEC-ECOTECH 原則の枠組みの範囲内で、科学技術の研究・開発の協力を促進する。

- APEC 加盟国の政府、研究者、企業間の関係強化に向け前進する。
- 国際的な科学技術ネットワークを改善する。
- APEC 加盟国間で専門家と研究者の交流を促進し、先住民の要望も含む労働人材の能力を改善させる。
- APEC 加盟国の鉱業・金属産業における労働力資源の現状を調査し評価する。

C. 以下を目的とし、APEC ビジネス諮問委員会 (ABAC) とより緊密に取り組む仕組みを検討する。

- 生産面における連鎖(クラスター)は、持続可能な開発に対する鉱業の貢献において重要であることを考慮し、鉱物・金属及び関連部門間のシナジーを創出する。
- 中小企業をさらに発展させる。雇用が拡大し、加盟国が大いに発展することで、上記のみならず、多くの効果が生まれることが明言できる。
- 企業ネットワークを創出し、メンバーが相互に協力できるようにし、また、APEC 域内の鉱物・金属及び関連部門のための新たな機会の分析を可能とする。

- D. Promote minerals and metals issues in other APEC Fora.
- E. Undertake an assessment of the state of trade and investment liberalization and facilitation of minerals and metals in APEC economies.
19. We agreed to express our concern to the European Union (EU) over possible EU trade restrictions imposed on minerals and metals by the proposed New Chemicals Policy (REACH). The proposed policy is not commensurate with the scale of the problem, particularly with respect to the potential impact on the mining and metals industry, and would impose unnecessary costs.
20. We decided to communicate to the World Bank our concern about the outcome of the Extractive Industries Review (EIR) report, and our interest in working with the Bank to respond to the report.
21. We requested the Chairman to report on conclusions reached at the First APEC Ministers Responsible for Mining Meeting, at the next meeting of APEC Economic Leaders in Santiago, Chile, on November 20-21, 2004, in order to ensure that the contribution that the mining and metals industry makes to economic development and prosperity in the APEC region is recognized by Leaders.
22. Finally, we welcomed the opportunity for joint discussion on important issues in the minerals and metals sector. Ministers have committed to meet again when the working plan has been developed.
- D. 鉱物・金属に関する問題が他の APEC 組織でも取り扱われるよう働きかける。
- E. APEC 加盟国における鉱物・金属の貿易・投資の自由化及び促進の状況評価を実施する。
19. 我々は、新化学品規制 (REACH) 案によって、鉱物・金属に EU の貿易制限が課される可能性に対し、懸念を抱いていることを EU に示すこと問題の大きさに対してつり合いがとれていない。
20. 我々は、EIR (採取産業レビュー) の結果に関する懸念及び我々が世界銀行とともに作業する意向があることを世界銀行に伝えることを決定した。
21. 我々は議長に対し、鉱業・金属産業の APEC 地域経済の発展と繁栄に対する貢献が首脳陣に認識されるよう、第 1 回 APEC 鉱業大臣会議の結論について、2004 年 11 月 20、21 日にチリのサンチャゴで開かれる APEC 首脳会議で報告するよう求めた。
22. 最後に我々は、鉱物・金属部門の重要な問題とともに議論する機会がもたらされたことを歓迎し、作業計画が作成された際に再会することを約束した。